

平成 29 年度 第 8 回理事会議事録

日 時:平成 30 年 3 月 25 日(日)10 時 00 分～12 時 35 分

場 所:北岡病院 会議室

出席者:湯田範規、岡田早苗、藤原弘光、藤井和晃、西村令子、中井宏衛、木下敬一郎、佐々木崇雄、下廣寿、片岡憲一、山根由美、青戸俊輔、山岡貴子

[出席:13 名/20 名中]

欠席者:野上智、那須野邦彦、先灘浩功、佐々木豪、吉岡明、田中雅彦、北野岳之(外部監事)

議 長:湯田範規 書 記:藤井和晃

議事録署名人:藤原弘光、下廣 寿

一般社団法人鳥取県臨床検査技師会定款第 5 章第 29 条により理事会を招集し、定款第 5 章第 31 条により理事会が成立した。

議題 1 平成 30 年度「全国検査と健康展」の日程について(提出:下廣理事)

・平成 30 年 11 月 4 日(日)、イオンモール日吉津 チューリップコートにて開催したい。【承認後決定】

議題 2 平成 30 年度定時総会議案書(案)について(提出:藤井事務局長)

平成 30 年度事業計画案

1. 渉外調査部(下廣理事)

- ・健康展を米子市と鳥取市で例年通り実施する。
- ・賀詞交歓会 平成 31 年 1 月に米子市で計画。
- ・スポレクは鳥取市でボーリングを計画。日程は再検討する。
- ・賀詞交歓会は島根県担当者と那須野理事が交渉してブッキングしないようにする。(湯田会長)
- ・市民公開講座は必ず実施しないといけないか。(下廣理事)
- ・日臨技助成金事業(乳がん撲滅事業)を契機に実施してきたが、現在は助成金もなく、必ず実施しなければならないものではないが、平成 30 年度は見送り、公益事業として今後検討していく。内容については、学部中心に考えていく。

2. 学術部(藤原副会長)

- ・県学会:10 月 28 日、会場は鳥取大学医学部臨床講義棟を確保済。
- ・部門研修会: 4 月 21 日、9 月 1 日が講師の都合によりブッキングしてしまった。
 - 4 月 21 日 生理機能検査部門、感染制御検査部門は日臨技推進事業申請済。感染制御は共催。
 - 9 月 8 日 移植検査部門 メーカーとの共催事業としたい。
- ・平成 30 年度日臨技・鳥臨技主催 医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会は、10 月 20 日、21 日に藤原副会長が担当で行う。
- ・感染制御部門において、平成 31 年度に中四国支部研修会を鳥取県が担当するため、鳥取県臨床検査技師会研修会参加補助金制度利用による派遣・伝達講習を平成 30 年 12 月または平成 31 年 1 月に企画。
- ・鳥取県医学検査学会の責任者、実務委員等の選出・企画を協議するため、学術担当者会議を開催。

・精度管理事業 平成30年9月2日 9:00～鳥取大学医学部附属病院検査部で準備・発送。報告会は平成30年12月2日に西部医師会館で行う。

- ・日臨技サーベいのC・D評価についてサポート事業を精度管理報告会で行うか。(湯田会長)
- ・全国の状況を確認したところ、是正までですとすればその分野で委員が熟知しておかなければ難しい。
- ・日臨技からデータを提供してもらい、各委員が状況を報告する(是正まではできない)方向で企画する。(木下理事)
- ・鳥臨技のサーベいで実施するならば、A～D評価に変更しなければならない。(木下理事)
- ・厚生局の立ち入り調査で、鳥臨技サーベいの評価が明確でないとの指摘があった。(藤原副会長)
- ・“見える化”していくように検討していく。(木下理事)
- ・認知症B講習会を8月25日か26日で計画しているが、東京都の講習会とブッキングしている。東京での講習会は募集人数が多く、機材を借りることができないため、9月16日、17日に変更したい。(岡田副会長)
- ・一般検査が年1回しかなく、他県に行かなければならないことが多い。できるだけ地元開催して欲しい。形態検査実技のニーズが多い。(藤原副会長)
- ・会費値上げにも関わらず、参加したい研修会が少ない。実施して欲しい研修会がないという声を聞く。(藤原副会長)
- ・ステップアップ研修会の内容がよく、繰り返し実施し、参加型(ディスカッション)でもよいのではないか。(湯田会長)
- ・自動分析コツセミナーの過去実施分で構わないので、抜粋かエッセンスを繰り返し実施してはどうか。(岡田副会長)
- ・ピペットや遠心機の使い方など基礎的な部分を実施してはどうか。(青戸理事)
- ・学術部で検討していくこととする。

【事業計画案についてすべて承認された。】

3. 予算案(西村財務部長)

- ・今年度の予算について、現時点で予算額と支出額に大きく差がある勘定科目について、総予算枠の中で第一次補正予算を組ませていただきたい。けんさしつはカラーページが増えており、印刷費が高くなっている。精度管理報告書もあるため、増額している。見積書をとっているか確認が必要。(岡田副会長)
- ・けんさしつ印刷製本費に関して編集委員長に確認する。(藤原副会長)

【第一次補正予算について承認された。】

- ・会費値上げにより、約94万円の収入増となる。
- ・認知症、職能向上のための育成講習会について、参加費は徴収する予定である。助成金、参加費を予算に計上する。
- ・日臨技推進事業助成金の申請が可能な研修会は13回予定されているので、45万5千円を計上する。
- ・勘定科目名を修正すること、およびレクレーション参加費を受取会員交流会参加費へ、ランチョンセミナーが開催されるようであれば、受取協賛金に、日臨技総会の回収費を雑収入に、また、受取利息の計上が必要である。(岡田副会長)

【平成30年度予算案について承認された。】

議題3 役員の交代について(提出:湯田範規)

・役員推薦委員長・選挙管理委員長の石本 学技師(鳥取大学医学部附属病院検査部)より退任の申し出があり、役員推薦委員・選挙管理委員に、佐藤明美技師(鳥取大学医学部附属病院検査部)に変更したい。(湯田会長)【承認】

・役員推薦委員長・選挙管理委員長は委員の互選により決定となる。(湯田会長)

議題4 その他

1. 学術部報告事項・協議事項(藤原副会長)

・研修会講師の税金支払い業務については事務員に処理してもらう。

・中四国支部医学検査学会の感染制御部門シンポジウムの司会に室田博美技師(鳥取大学医学部附属病院)、生理部門ハンズオンセミナー講師に服部博明技師(鳥取県済生会境港総合病院)が決定した。

・第 67 回日本医学検査学会の一般演題座長は、仲田佑未技師(鳥取大学医学部附属病院)、石垣宏之技師(山陰労災病院)が決定した。

・平成 30 年度第2回移植検査部門輸血分野研修会でメーカーとの共催について 【承認】

・第 44 回鳥取県医学検査学会に向けた準備に向けて、学術担当者会議を早めに関催する必要がある。

4 月 21 日(午前中)に開催する。【決定】

・研修会の会員向け案内文書の改定案について 【承認】

・第 66 回日本医学検査学会アンケート集計結果報告について、閲覧したい人は事務所に連絡してもらうこととする。【決定】

・第 6 回自動分析コツセミナーの後援について【承認】

2. 平成 30 年度理事会開催について

・平成 30 年度の理事会開催予定は事務局長が案を作成し、メールで配信する。

3. 平成 30 年度日臨技との関連事業報告(湯田会長)

・都道府県技師会の主催事業は、生涯教育推進研修会助成、都道府県主催 都道府県技師会ニューリーダー育成講習会について開催。

・共同事業として全国検査と健康展、地域ニューリーダー実践講習会、職能向上のための臨床検査技師育成講習会の開催等がある。

4. 支部学術部門員の選任について(湯田会長)

要件があるため、藤原副会長から各部門長に打診する。【決定】

5. 研修について、参加証明書を出すようにお願いしたい。(佐々木崇理事)

・必要な人は各自事務所に申請することとする。

・県学会は事務所で事前に用意する。

・ステップアップ研修会は事務所に申請→事務所にある雛形を担当者に送付→担当者が作成し事務所へ送付→発行。事前に用意し参加者に配布する。

【決定】

次回(平成30年度第1回)理事会: 5月9日 19:00~ 倉吉市

以上をもって議事を全て終了し、12時35分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成30年3月31日

議長 湯田 範規 ⑩

監事 山岡 貴子 ⑩

議事録署名人 藤原 弘光 ⑩

下廣 寿 ⑩